

業 績

< 主な和論文 >

1. 工藤進英、伊藤治、中嶋孝司、日下尚志、田村智、広田茂、福岡岳美、浅野道雄、三岡博、佐野寧、中嶋秀麿、山野泰穂、芹澤大、小林匡、松森昌門、早期大腸癌の内視鏡診断、消化器科、Vol.20, No.6, 451-456, 1995.
2. 南利江子、佐野寧、藤盛孝博、大腸癌の病理組織学的検討 - 組織学的文化度のスコア化による検討の試み - 、消化器内視鏡、Vol.8, No.7, 899-905, 1996.
3. 佐野寧、小野祐子、富田茂樹、平林かおる、石飛文雄、瀧本壽郎、上田善彦、藤盛孝博、表面型大腸腫瘍の遺伝子異常、最新医学、第51巻、第8号、1427-1435、1996.
4. 佐野寧、藤盛孝博、市川一仁、小野祐子、富田茂樹、平林かおる、瀧本壽郎、上田善彦、寺野彰、酒井義浩、柏木亮一、田畑文平、長廻紘、大腸腫瘍の微細表面構造と組織像との比較 病理の立場から、胃と腸、第31巻、第11号、1327-1340、1996.
5. 佐野寧、藤盛孝博、表面型大腸癌の遺伝子異常、医学のあゆみ、Vol.176, No.13, 946-951, 1996.
6. 威曉東、藤盛孝博、佐野寧、南利江子、中村哲也、寺野彰、前田盛、早期胃癌病巣内潰瘍形成における *Helicobacter pylori* 感染の役割についての検討、Gastroenterological Endoscopy, Vol.38, No.12, 2833-2839, 1996.
7. 小野祐子、佐野寧、市川一仁、藤盛孝博、大腸癌の浸潤と転移、Mebio, Vol.14, No.2, 65-74, 1997.
8. 佐野寧、小野祐子、市川一仁、荒尾潤、富田茂樹、平林かおる、瀧本壽郎、上田善彦、藤盛孝博、南利江子、前田盛、病理学の立場からみた早期大腸癌の進達度診断 - 浸潤・転移における接着因子からみた大腸 s m 癌 - 、消化器内視鏡、Vol.9, No.2, 159-165, 1997.
9. 佐藤豊彦、上田善彦、富田茂樹、佐野寧、市川一仁、小野祐子、平林かおる、瀧本壽郎、藤盛孝博、浅利留美子、佐々木英夫、三坂和温、清水健、正和信英、胆道系悪性腫瘍のスクリーニングにおける遺伝子診断の応用：培養細胞（NOZ）を用いた基礎的検討：第38回日本臨床細胞学会学術集会：消化器、日本臨床細胞学会雑誌、36（Suppl.1）255、1997.
10. 大塚誉子、長廻紘、佐野寧、藤盛孝博、林直諒、20mm 以下の進行大腸がんの粘膜内増殖様式と K-ras 点突然変異と P53 の免疫組織学的検討、Gastroenterological Endoscopy, Vol.39(4), Apr, 779-785, 1997.
11. 小野祐子、佐野寧、上田善彦、藤盛孝博、長廻紘、潰瘍性大腸炎における dysplasia carcinoma の遺伝子変化、病理と臨床、Vol.15, No.4, 357-361, 1997.
12. 佐野寧、青山伸郎、深達度診断はどこまで正確にできるか 拡大内視鏡の場合、編集：多田正大・工藤進英、大腸ポリペクトミーはどこまで必要か、98-101、日本メディカルセンター、東京、1997.
13. 佐野寧、日下利広、市川一仁、佐久間和広、石田正実、荒尾潤、小野祐子、富田茂樹、平林かおる、瀧本壽郎、上田善彦、藤盛孝博、大腸腫瘍の表面構造の解析 - 臨床にもたらずもの - 、診断と治療、Vol.85, No.6, 880-884, 1997.
14. 佐野寧、日下利広、藤盛孝博、大腸癌における遺伝子異常、編集幹事：浅香正博、消化管疾患、344-354、中山書店、東京、1997.
15. 佐野寧、日下利広、大腸腫瘍におけるアポトーシス、編集：長廻紘・藤盛孝博、大腸癌 早期診断のための分子病理学的アプローチ、231-238、医薬ジャーナル社、大阪、1997.

16. 佐野寧、大腸微小腺腫、編集：藤盛孝博、内視鏡像の読み方、101-104、新興医学出版社、東京、1997.
17. 小野祐子、福井広一、日下利広、佐野寧、上田善彦、藤盛孝博、遺伝子異常からみた大腸腺腫と腺癌、病理と臨床、Vol.16, No.1, 50-56,1998.
18. 佐野寧、現状における消化器癌遺伝子診断の問題点、編集：藤盛孝博、大腸の臨床分子病理学 形態診断と遺伝子診断、89-94、メジカルビュー社、東京、1998.
19. 佐野寧、日下利広、平林かおる、福井広一、藤田幹夫、市川一仁、富田茂樹、小野祐子、滝本寿郎、上田善彦、藤盛孝博、前田盛、直腸の急性潰瘍と慢性潰瘍 - 病理の立場から、消化器内視鏡、Vol.10, No.10, 1253-1261, 1998.
20. 藤盛孝博、佐野寧、日下利広、大腸腫瘍の発育進展、日本臨床生理学会雑誌、28、58、1998.
21. 遠藤幹也、佐久間和弘、真島雄一、菅家一成、大塚幸夫、富田豊、鈴木保永、島田忠人、平石秀幸、菅家仁、佐久間敦、小暮洋暉、佐野寧、平林かおる、藤盛孝博、寺野彰、癌合併を認めた胃型腺腫の1例、日本消化器病学会雑誌、96(3), 286-290, 1999.
22. 加藤茂治、藤井隆広、佐野寧、傳光義、荒尾潤、木庭郁郎、PG・NPG分類から見た組織異型度と発育形態の関与について、早期大腸癌、volume 3, number 4, 359-366, 1999.
23. 日下利広、甲斐原司、佐野寧、森田賀津雄、小野祐子、藤盛孝博、藤井茂彦、河南智晴、千葉勉、大腸s m癌に対する内視鏡的切除の可能性 分子病理学的立場から、胃と腸、第34巻、第6号、785-794、1999.
24. 佐野寧、藤盛孝博、日下利広、青山伸郎、前田盛、大腸腫瘍の形態とアポトーシス関連因子に関する検討、Gastroenterological Endoscopy、41巻、8号、1431-1437、1999.
25. 佐野寧、小林正彦、吉田茂昭、狭帯域 filter 内臓電子内視鏡システム (Narrow Band Imaging : NBI) の開発・臨床応用に関する試み、Gastroenterol Endosc, Vol.42 (Suppl.2), 1520, 2000.
26. 佐野寧、傳光義、加藤茂治、吉野孝之、浜本康夫、外岡亨、木庭郁郎、吉田茂昭、尾田恭、日下利広、藤盛孝博、斉藤豊、藤井隆広、Laterally spreading tumor (LST) non-granular type の臨床・分子学的特徴 - c型大腸主要との比較、早期大腸癌、volume 4, number 4, 357-366, 2000.
27. 加藤茂治、佐野寧、木庭郁郎、傳光義、吉野孝之、吉田茂昭、藤井隆広、右側結腸に同時および異時性に表面型大腸癌が多発した1例、胃と腸、第35巻、第8号、1067-1071、2000.
28. 佐野寧、加藤茂治、目良清美、傳光義、吉野孝之、浜本康夫、外岡亨、広中秀一、木庭郁郎、吉田茂昭、斉藤豊、藤井隆広、表面構造から見た大腸鋸歯状腺腫の質的診断の限界、消化器内視鏡、Vol.12, No.8, 1113-1118, 2000.
29. 浜本康夫、佐野寧、傳光義、吉野孝之、吉田茂昭、小林正彦、加藤茂治、神津隆弘、藤井隆広、色素内視鏡、Mebio, Vol.18, No.1, 18-24, 2001.
30. 吉野孝之、佐野寧、炎症性腸疾患 (IBD) と Genetic Link、消化器内視鏡、Vol.13, No.2, 219-226, 2001.
31. 佐野寧、加藤茂治、吉野孝之、傳光義、矢野友規、服部三太、押川勝太郎、Rogerio KUGA、秋野公臣、木庭郁郎、吉田茂昭、藤井隆広、潰瘍性大腸炎における Dysplasia 発見のための拡大内視鏡の展望、消化器内視鏡、Vol.13, No.3, 447-454, 2001.
32. 外岡亨、佐野寧、加藤茂治、吉野孝之、斎藤典男、SF19b-3 リンパ節転移からみた大腸s m癌の浸潤度 (相対,絶対) 分類、日本外科学会雑誌、102 (臨時増刊) 128、2001.

33. 佐野寧、浜本康夫、傳光義、吉野孝之、秋野公臣、堅田親利、前田真美、奥野達哉、加藤茂治、藤井隆広、吉田茂昭、狭帯化 RGB filter 内臓 Narrow Band Imaging (NBI) system を用いた pit pattern 診断、早期大腸癌、volume 5, number 6, 589-593, 2001.
34. 佐野寧、小林正彦、神津隆弘、武藤学、傳光義、吉野孝之、長島文夫、朴成和、大津敦、藤井隆広、小野裕之、斉藤大三、加藤茂治、浜本康夫、遠藤高夫、田尻久雄、吉田茂昭、狭帯化 RGB filter 内臓 narrow band imaging(NBI)system の開発・臨床応用、胃と腸、第 36 巻、第 10 号、1283-1287, 2001.
35. 藤井茂彦、藤盛孝博、西正孝、甲斐原司、日下利広、安藤正夫、堀公行、佐野寧、藤井隆広、千葉勉、長廻紘、加藤洋、sm massive 以深に浸潤した 10mm 以下の大腸癌の分子病理学的特徴、胃と腸、第 36 巻、第 11 号、1363-1370、2001.
36. 日下利広、藤盛孝博、佐野寧、ポリープは全部とるの？ - ポリープと大腸癌 -、編集：千葉勉、消化器疾患のとりえかた、99-105、文光堂、東京、2002.
37. 佐野寧、町田浩久、奥野達哉、傳光義、吉野孝之、前田真美、押川勝太郎、長島文夫、目良清美、吉田茂昭、藤井隆広、無症状患者（平均的危険群、高危険群）における大腸癌罹患予防のための内視鏡検査計画-海外の報告から-、消化器内視鏡、第 14 巻、第 4 号、413-422、2002.
38. 奥野達哉、佐野寧、藤井隆広、過形成ポリープ（結節）[hyperplastic polyp(nodule)] 早期大腸癌、volume 6, number 5, 401-402, 2002.
39. 奥野達哉、佐野寧、藤井隆広、inverted hyperplastic polyp、早期大腸癌、volume 6, number 5, 403-404、2002.
40. 佐野寧、前田真美、竹林勇二、外岡亨、矢野友規、岩崎順子、傳光義、藤井隆広、大腸 hyperplastic polyp, serrated adenoma の臨床意義 - 発癌母地としての新しい概念を中心に -、診断と治療、Vol.90、No.10、1799-1810、2002.
41. 佐野寧、町田浩久、傳光義、藤井隆広、バイポーラスネア（ドラゴネア）、消化器内視鏡、第 14 巻、第 9 号、1503-1504、2002.
42. 甲斐原司、奥野達哉、佐野寧、大腸癌、Mebio, Vol.19, No.10, 62-71, 2002.
43. 佐野寧、吉野孝之、藤井隆広、大腸 sm 癌, sm 癌診断の実際と問題点、編集：小西文雄・松井敏幸・藤盛孝博、大腸癌、93-98、日本メディカルセンター、東京、2002.
44. 斉藤典男、小野正人、杉藤正典、伊藤雅昭、佐野寧、放射線治療、編集：小平進、大腸がん、50-53、医薬ジャーナル社、大阪、2002.
45. 佐野寧、DDW 2002 America、早期大腸癌、volume 7, number 1, 109-110, 2003.
46. 堅田親利、佐野寧、吉野孝之、傳光義、遠藤泰志、藤井隆広、粘膜内病変の残存度からの推測、早期大腸癌、volume 7, number 2, 149-155, 2003.
47. 堅田親利、佐野寧、吉野孝之、遠藤泰志、藤井隆広、LST-NG type 病変が type2 進行癌に急速進展した 1 例、早期大腸癌、Vol.7, No.2, 166-167, 2003.
48. 山下啓史、武藤学、大津敦、目良清美、土井俊彦、佐野寧、吉田茂昭、食道癌放射線化学療法施行例の多臓器重複癌、胃と腸、第 38 巻、第 3 号、307-315、2003.
49. 武藤学、堅田親利、真鍋哲朗、目良清美、佐野寧、土井俊彦、大津敦、吉田茂昭、食道 ms 癌の治療成績からみた EMR 後の追加治療法の選択 - 放射線化学療法、消化器内視鏡、第 15 巻、第 3 号、407-410, 2003.

50. 土井俊彦、佐野寧、遠藤久之、大腸癌における切開・剥離法と新たな処置具・機器、早期大腸癌、Vol.7, No.6, 508-512, 2003.
51. 町田浩久、佐野寧、桑村光、目良清美、遠藤久之、土井俊彦、藤井隆広、吉田茂昭、内視鏡切除後の遺残・再発腫瘍に対する内視鏡切除 - 側方発育型大腸腫瘍を中心に、早期大腸癌、Vol.7, No.6, 538-544, 2003.
52. 町田浩久、佐野寧、藤井隆広、吉田茂昭、側方発育型大腸腫瘍に対する内視鏡治療後の遺残・再発への対処法、消化器内視鏡、第15巻、第7号、957-963、2003.
53. 甲斐原司、佐野寧、奥野達哉、傳光義、岩崎順子、吉野孝之、小畠誉也、小野雅人、齋藤典男、内科的治療、日本臨牀、61巻、増刊号7、533-539、2003.
54. 桑村光、佐野寧、傳光義、拡大内視鏡を用いた病理組織診断予測、編集：中村哲也・寺野彰、消化器超音波診断 - 最新の進歩、219-226、へるす出版、東京、2003.
55. 佐野寧、藤井隆広、吉田茂昭、大腸癌の内視鏡的サーベイランス National Polyp Study (NPS) と Japan Polyp Study (JPS)の結果から、編集：木村健・藤盛孝博・加藤洋、消化器癌のサーベイランス、141-154、新興医学出版、東京、2003.
56. 岩崎順子、佐野寧、偶発症の予防と対策、編集：五十嵐正広、基本からわかる大腸のEMR、69-79、中山書店、東京、2003.
57. 遠藤高夫、浜本康夫、有村佳昭、能正勝彦、高橋宏明、今井浩三、佐野寧、佐藤昌明、Barrett上皮・食道の粘膜性状診断：拡大内視鏡とNBI内視鏡を用いて、胃と腸、第38巻、第12号、1647-1657、2003.
58. 奥野達哉、佐野寧、Colitic Cancer、編集：戸田剛太郎・税所宏光・寺野彰・幕内雅敏、消化器、13-24、中外医学社、東京、2004.
59. 伊藤紘朗、佐野寧、伊藤雅昭、吉田茂昭、海外における大腸癌切除後のサーベイランスプログラム（ガイドライン）、早期大腸癌、volume 8, number 2, 145-150, 2004.
60. 大腸内視鏡診断アトラス、医学書院、共著、2004.
61. 傳光義、佐野寧、加藤茂治、大腸腫瘍 / 非腫瘍性病変の鑑別 - 色素散布や拡大観察はどれだけ有用か -、編集：田尻久雄・田中信治、消化管拡大内視鏡診断の実際 観察のコツと診断のポイント、140-143、金原出版、東京、2004.
62. 傳光義、佐野寧、加藤茂治、大腸LSTのEMR後の陰嚢気腫により大腸穿孔が診断されたが、保存的に加療可能だった、編集：幕内博康・熊井浩一郎・澤田俊夫・峰徹哉・藤盛孝博、消化器内視鏡のトラブル防止マニュアル、276、日本メディカルセンター、東京、2004.
63. 小畠誉也、佐野寧、松田尚久、齋藤典男、大腸、Mebio, Vol.12, No.4, 84-90, 2004.
64. 五十嵐誠、後野和弘、小尾高史、山口雅浩、大山永昭、小林正彦、佐野寧、吉田茂昭、生体媒質のモンテカルロシミュレーションに基づく分化型早期胃癌の反射スペクトル解析、光学、33(8)、479-489、2004.
65. 伊藤紘朗、佐野寧、大腸ポリープ、編集：白鳥康史・下瀬川徹・木下芳一・金子周一・樫田博史、専門医のための消化器病学、225-232、医学書院、東京、2005.
66. 佐野寧、Narrow Band Imaging (NBI) systemを用いたpit pattern診断、編集：工藤進英、大腸pit pattern診断、161-165、医学書院、東京、2005.
67. 吉田志栄、佐野寧、大腸EMRに用いる器具の種類と特性、編集：工藤進英、EMRのコツと落と

し穴 [2] 下部消化管、13-15、中山書店、東京、2005.

68. 伊藤紘朗、佐野寧、出血・穿孔などの合併症の現状とその対策、編集：工藤進英、EMRのコツと落とし穴 [2] 下部消化管、98-101、中山書店、東京、2005.
69. 桑村光、佐野寧、大腸癌EMR後のフォローアップ、編集：工藤進英、EMRのコツと落とし穴 [2] 下部消化管、152-153、中山書店、東京、2005.
70. 吉野孝之、佐野寧、松田尚久、藤井隆広、適応拡大された大腸sm癌切除後の長期予後と再発症例、編集：工藤進英、EMRのコツと落とし穴 [2] 下部消化管、154-155、中山書店、東京、2005.
71. 吉野孝之、佐野寧、松田尚久、藤井隆広、大腸sm癌の再発症例に対するサルベージ治療、編集：工藤進英、EMRのコツと落とし穴 [2] 下部消化管、159、中山書店、東京、2005.
72. 佐野寧、武藤学、吉田茂昭、NBI、消化器内視鏡、Vol.17, No.6, 750-758, 2005.
73. 佐野寧、Japan Polyp Study (Clean colon の評価)、編集：藤盛孝博・坂本長逸・星原芳夫・加藤洋、消化器癌の診断・治療 内視鏡と病理の接点、128-131、新興医学出版社、東京、2005.
74. 松田尚久、佐野寧、藤井隆広、斎藤豊、神津隆弘、浦岡俊夫、中島健、池原久朝、真下由美、中屋照雄、菊池剛、岡部尚子、斉藤大三、大腸ポリープ摘除後の経過観察はどうするか、消化器内視鏡、第17巻、第8号、1315-1321、2005.
75. 武藤学、堅田親利、高橋真理、佐野寧、小島隆嗣、服部三太、三梨桂子、矢野友規、大津敦、落合淳志、海老原敏、吉田茂昭、表在性の中・下咽頭癌の拡大内視鏡診断 NBI も含めて、胃と腸、第40巻、第9号、1255-1269、2005.
76. 堀田欣一、佐野寧、大腸ポリープ内視鏡切除後の経過観察期間の設定、編集：上村直実・菅野健太郎、臨床に直結する消化器疾患治療のエビデンス、285-287、文光堂、東京、2005.
77. 佐野寧、斎藤豊、大腸内視鏡挿入観察法、編集：田中信治・長南明道・田尻久雄、内視鏡診断のプロセスと疾患別内視鏡像、47-54、日本メディカルセンター、東京、2005.
78. 武藤学、高橋真理、三梨桂子、矢野友規、佐野寧、大津敦、落合淳志、吉田茂昭、中・下咽頭表在性癌の微小血管による診断、消化器内視鏡、第17巻、第12号、2061-2068、2005.
79. 佐野寧、堀松高博、片桐敦、武藤学、吉田茂昭、Narrow Band Imaging(NBI)Colonoscopy を用いた大腸腫瘍の微細血管診断学、消化器内視鏡、Vol.17, No12, 2129-2138, 2005.
80. 編集：国立がんセンター東病院、責任編集：武藤学・土井俊彦・佐野寧、消化器癌診療における治療内視鏡実践ハンドブック、医学書院、東京、2006.
81. 堀松高博、多久佳成、佐野寧、大腸穿孔に対するクリップ縫縮術の有用性 - 保存的加療か外科的治療か、日本消化器病学会雑誌、103、740、2006.
82. 片桐敦、佐野寧、吉田茂昭、Narrow Band Imaging (NBI) system を用いた Microcapillary 観察の大腸内視鏡診断における有用性、日本消化器病学会雑誌、103、508、2006.
83. 松田尚久、斎藤豊、佐野寧、大腸sm癌に対する拡大内視鏡の有用性 - sm1000 μ mの診断精度とその意義、日本消化器病学会雑誌、第103巻、508、2006.
84. 佐野寧、藤井隆広、吉田茂昭、医療経済と科学的根拠に基づいた大腸ポリープ内視鏡切除後のサーベイランス、編集：藤盛孝博、新しい診断と治療のABC 35 大腸腺腫・大腸癌、212-217、2006.
85. 佐野寧、堀松高博、片桐敦、傳光義、武藤学、斎藤豊、松田尚久、吉田茂昭、Narrow Band Imaging (NBI)、早期大腸癌、volume 10, number 3, 235-241, 2006.
86. 佐野寧、矢野友規、傳光義、藤井隆広、大腸 large hyperplastic polyp と大腸癌の関連、早期大

腸癌、volume 10, number 4, 319-328, 2006.

87. 傳光義、佐野寧、加藤茂治、堀松高博、藤井隆広、藤盛孝博、大腸における腫瘍・非腫瘍性病変の鑑別、臨牀消化器内科、Vol.21, No.4, 451-457, 2006.
88. 佐野寧、堀松高博、片桐敦、大腸スクリーニング検査におけるNBIの有用性、編集：田尻久雄、特殊光による内視鏡アトラス NBI・AFI・IRI診断の最前線、124-139、日本メディカルセンター、東京、2006.
89. 佐野寧、堀松高博、片桐敦、傳光義、金潤哲、池松弘朗、小高雅人、斉藤豊、武藤学、吉田茂昭、大腸における narrow band imaging(NBI)観察の臨床意義について、胃と腸、第41巻、第13号、1793-1800、2006.
90. 田中信治、五十嵐正広、小林清典、佐野寧、斉藤裕輔、山本博徳、斉藤豊、飯石浩康、城卓志、青山伸郎、津田純郎、工藤進英、浦上尚之、渡邊聡明、松本主之、寺井毅、岡志郎、金尾浩幸、味岡洋一、加藤洋、藤盛孝博、岩下明德、石黒信吾、下田忠和、長廻紘、武藤徹一郎、大腸SM癌内視鏡治療後のサーベイランス、大胃腸疾患 NOW2007、112-120、日本メディカルセンター、東京、2007.
91. 佐野寧、NBI story、早期大腸癌、Vol.11、No.2、91-92、2007.
92. 佐野寧、堀松高博、片桐敦、池松弘朗、傳光義、NBIと臨床(1)腫瘍の診断 a. 病変の拾い上げ診断、早期大腸癌、Vol.11、No.2、107-112、2007.
93. 佐野寧、池松弘朗、花房正雄、豊田昌徳、小高雅人、山口まゆみ、辻あさか、斎藤豊、コロンモデルを用いたトレーニングの実際、消化器内視鏡、Vol.19、No.3、385-393、2007.
94. 佐野寧、武藤学、吉田茂昭、大腸における Narrow band imaging(NBI)観察、Gastroenterological Endoscopy、49巻2号、220-228、2007.
95. 佐野寧、奥野達哉、大腸ポリープとCOX-2阻害剤、がん分子標的治療、Vol.5、No.2、53-57、2007.
96. 佐野寧、藤井隆広、松田尚久、吉田茂昭、Japan Polyp Study Workgroup、大腸良性腫瘍性病変の治療とサーベイランスの標準化 Japan Polyp Study Workgroup(JPSG) retrospective study results、胃と腸、第42巻、第10号、1493-1499、2007.
97. 堀松高博、小島隆嗣、片桐敦、池松弘朗、傳光義、藤井誠志、佐野寧、特異な形態を呈した大腸癌の1例、胃と腸、第42巻、第10号、1529-1535、2007.
98. 豊田昌徳、佐野寧、内視鏡におけるNBIシステムの概要、日本医事新報、No.4363、91-92、2007.12.8.
99. 豊田昌徳、小高雅人、山口まゆみ、辻あさか、佐野寧、NBIを用いたスクリーニング法の現状と展望、臨牀消化器内科、Vol.23、No.2、2008.